

オーディオ実験室収載

ZANDEN Model 120 の導入(9) -LINN LP-12 からのバランス入力(1)-

1. 始めに

前報(8)で ZANDEN Model 120 と Garrad401 との組み合わせにおいてバランス入力にバランスアナログアキュライザーを使用する効果を認めましたので、LINN LP-12 ではどうかという検討を行ってみます。

2. ZANDEN Model 120 の試聴方法

現在、LP-12 はすでにアナログアキュライザーを使用している、次のような配線になっています。

アナログアキュライザーAACU-1000 の使用

LINN LP-12→(フォノケーブル) →(AACU-1000)→Model120(アンバランス入力端子→アンバランス出力端子)→(アンバランス／バランス変換ケーブル)→P&G フェーダー(バランス入力端子→バランス出力端子) →BACU-2000→300B シングルアンプ(バランス入力端子)

前報(8)において Garrad401 からのバランス入力にバランスアナログアキュライザーを使用する効果が大きいことを認めましたので、LP-12 における音質向上の手立てとして、バランス入力に変更し、次のようにバランスアナログアキュライザーBACU-2000 を使用してみました。なお、アンバランス／バランス変換プラグは2番ホットのものを使用します。

バランスアナログアキュライザーBACU-2000 の使用

LINN LP-12→(フォノケーブル)→(アンバランス／バランス変換プラグ)→(BACU-2000) →Model120(バランス入力端子→アンバランス出力端子)→(アンバランス／バランス変換ケーブル)→P&G フェーダー(バランス入力端子→バランス出力端子) →BACU-2000→300B シングルアンプ(バランス入力端子)

使用した音源は前報(2)と同じく下記のものです。

バッハ：チェンバロ協奏曲 ピノック指揮 English Concert

ARCHIV 28MA 0020 日本 POLYDOL 盤

ファリヤ：三角帽子 アンセルメ指揮スイスロマンド

LONDON SLC-1138

ミトマニア ベーレン・ゲスリン

harmonia mundi (Deutsche) KUX-3248-H

愛と自然の歌 倍賞千恵子

キングレコード SKA-104



3. ZANDEN Model 120 の試聴結果

まず、現在のアナログアキュライザーを使用した、Model120 のアンバランス入力を聴いておきます。カートリッジのグレードが高く、アナログアキュライザーの効果もあることから、満足すべきレベルにあることは言うまでもありません。

そこで、バランスアナログアキュライザーを使用した、Model120 のバランス入力に切り替えますと、前報(8)において、Garrad401 のアナログアキュライザーとバランスアナログアキュライザーの違いがそのまま当てはまるような変化が認められました。特に、間接音が明瞭になり立体的な表現力が向上します。チェンバロ協奏曲では通奏低音が明瞭になり、安定感が増します。

アナログアキュライザーを使用した、Model120 のアンバランス入力で十分なクオリティに達していると思っていたわけですが、アンバランス→バランス変換プラグを使用していても、バランスアナログアキュライザーを使用したバランス入力が、さらにその上のレベルにあることが分りました。

なお、アナログアキュライザーを使用したアンバランス入力が空いてきましたので、Garrad401 からのアンバランス入力に活用し、当面このままの状態で聴いていきます。

このテストのためにバランスアナログアキュライザーとアンバランス→バランス変換プラグを他から外してもらってきたのですが、上記の経過から、この条件から戻れなくなり、追加購入の措置を探りました。

4. まとめ

LINN LP-12 からの再生においても、アンバランス→バランス変換プラグを使用

し、バランスアナログアキュライザーを使用したバランス入力が優れていることが分りました。その結果、アナログアキュライザーを使用したアンバランス入力からこちらの方にシフトします。

以上